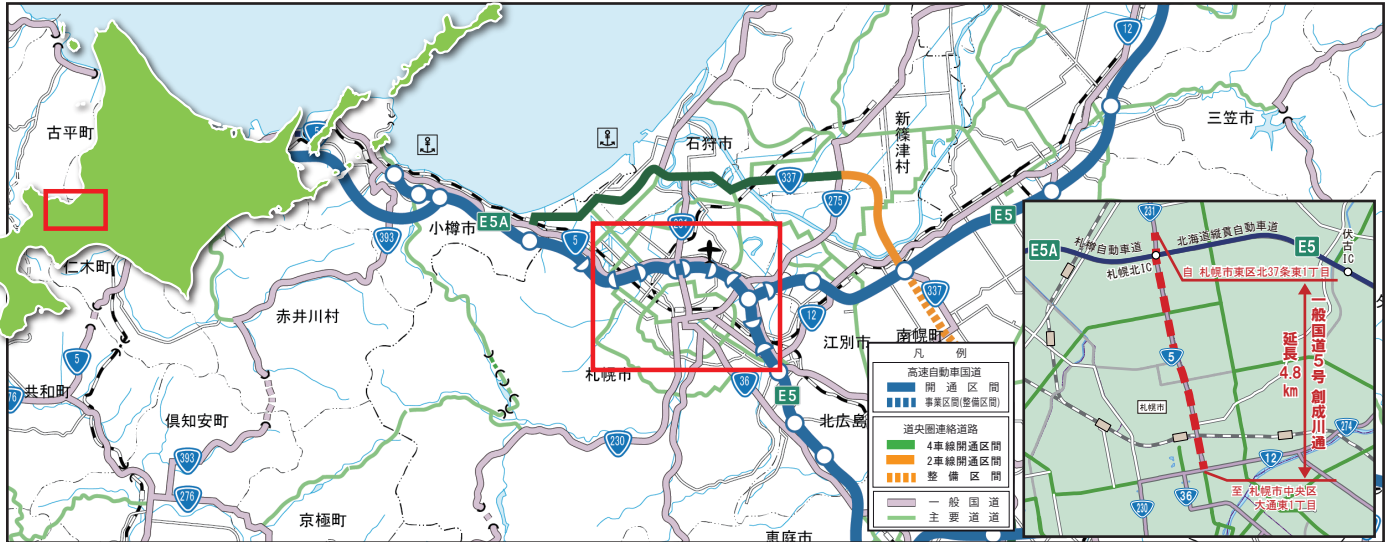


# 一般国道5号創成川通

そうせいかわどおり



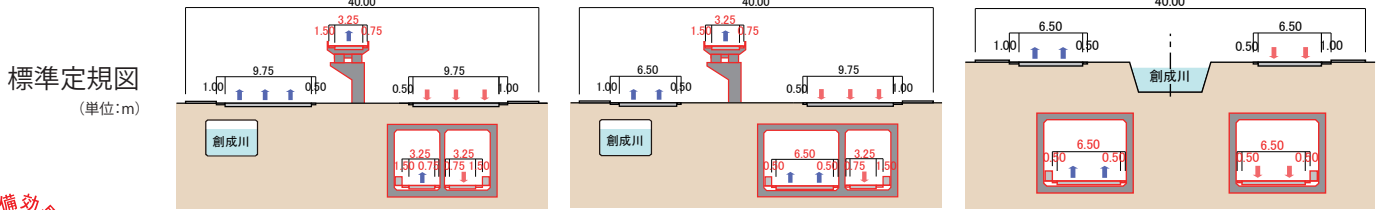
## 事業の概要

一般国道5号は、函館市から札幌市に至る延長約283kmの道央地域と道南地域を結ぶ主要幹線道路です。  
 一般国道5号創成川通は、北海道新幹線札幌延伸に伴う効果を全道に波及させ、都心アクセス強化による都市機能の最大化、都心立地施設への物流交通の安定性向上による企業・経済活動の支援等を目的とした事業です。

■2方向2車線区間

■2方向3車線区間

■2方向4車線区間



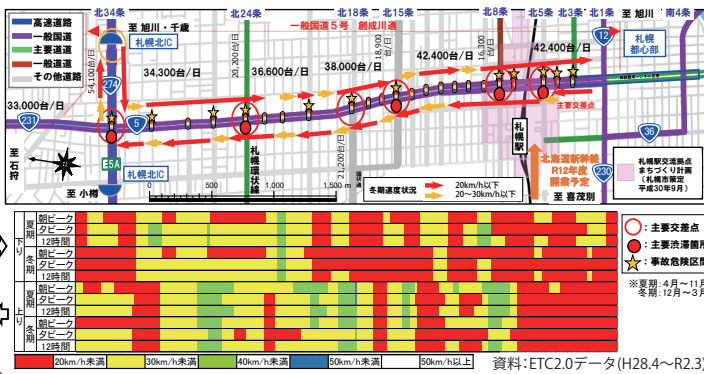
整備効果

## 1 札幌都心部と高速道路のアクセス

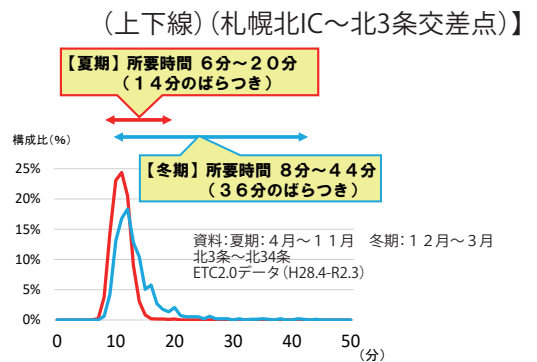
様々な都市機能が集積する札幌都心部と高速道路を結ぶ創成川通は、主要渋滞箇所や信号連坦等により速度低下と渋滞が日中でも断続的に発生し、所要時間のばらつきも生じるなど、定時性が課題です。

当該道路の整備により、所要時間のばらつきの改善による定時性確保と主要渋滞箇所、信号交差点の回避が期待されます。

【現道(国道5号)の夏期・冬期平日の交通状況】



【国道5号創成川通の所要時間のばらつき(上下線)(札幌北IC～北3条交差点)】



整備効果

## 2 物流交通の速達性・安全性

北海道最大の流通拠点である大谷地流通業務団地は、札幌市内の約1/4の貨物を取り扱い、都心への配送に高速道路と創成川通を利用しています。しかし、創成川通の死傷事故率は全道平均の約7倍であり、混雑に起因する追突事故の割合が約5割を占め、物流の速達性・安全性が課題です。当該道路の整備により、物流交通の安定性が向上し、企業・経済活動を支援することが期待されます。

【大谷地流通業務団地から札幌都心部への配送ルート】



【国道5号創成川通の死傷事故率、事故類型】

